



十二中だより

令和8年4月9日
足立区立第十二中学校
校長 原田 正伸
HP <http://www.adachi.ed.jp/adac12-j>

令和8年度が始まりました

校長 原田 正伸

今年度より荒川区教育委員会より、第十二中学校の校長として着任いたしました原田正伸です。保護者や地域の皆様方よりご指導、ご鞭撻を賜りながら、十二中生の成長のため、尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。6日の始業式では、新学期を迎え、新2・3年生はクラスも替わり、新たな気持ちで式に臨むことができました。また、第80回という節目を迎えた7日の入学式は、82名の新入生を迎え、多くの来賓、保護者が見守る中、盛大に挙行することができました。入学式に参加した新2・3年生は、新入生歓迎の言葉や在校生の校歌紹介など上級生として立派な態度で新入生を迎えることができました。令和8年度は全校生徒284名のスタートです。一人一人が夢と希望をもち、笑顔溢れる明るい学校をつくっていきます。

始業式では、2つのことを話しました。一つは、「挨拶をきちんとしよう」です。朝から気持ちのよい挨拶は、1日が気持ちよく過ごせるとともに、人と人とのつながりを感じることができます。学校だけでなく地域の中でも挨拶できる人は素敵です。気持ちのいいあいさつができる学校にしていきたいと思います。

もう一つは、令和8年度の十二中のスローガンを「互いに認め合い、一人一人が挑戦する十二中生!」とした話です。この意味は、授業や生徒会、委員会や係活動、部活動、ボランティア活動などの場面で、個人の思いや考えを周囲が認めることで、安心して挑戦できる環境をみんなで築き、よりよい学校をつくっていこうという思いがあります。早速、8日の新入生歓迎オリエンテーションでは、生徒会本部が、学校生活のルールを説明するための劇を披露したり、各委員会は、学校生活のルールや活動内容と委員のやりがいについて説明しました。また、各部活動からは活動日や活動内容、日ごろの成果を発表しました。1年生はもちろん、2・3年生もその発表に対して、声援を送っていました。1年生にとっては、これから挑戦しようとする意欲を高め、2・3年生からは、頑張っている友達を応援する姿から、安心して挑戦できる環境を作っていることが伺えました。一人一人が挑戦するこれからの十二中生の成長がとても楽しみです。

さて、今年度もICTモデル校として教員も授業改善を目標に研修を深めて参ります。ICTを効果的に活用しながら個別最適な学びと協働的な学びの一体化を目指し、「分かる授業・魅力ある授業」を実践していきます。教員側も主体的に学ぶ姿勢が大切であると考えています。また、生徒が学習習慣を身に付けられるような働き掛けも行っていきます。なお、防災教育については引き続き区教育委員会と連携して行っていきます。また、十二中に設置されている「あだち日本語学習ルーム分室」は日本語が不自由な生徒に対して日本語支援が行われています。こちらは、日本語学習ルームに別途申し込んでいただくこととなります。日本語の理解に困難さを抱えられているご家庭は、是非ご活用ください。

4月は環境が変わり、心身共にバランスを崩しやすい時期です。保護者の皆様には、お子様の様子をいつも以上に見守っていただければ幸いです。なお、困ったことや悩んでいることがございましたら、遠慮なく担任や話しやすい教員、養護教諭、スクールカウンセラーにご相談ください。今後とも保護者や地域の皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

第八十回入学式



新入生歓迎オリエンテーションの演技

